

【プレスリリース】

レイラ・ピニエイロとヒカルド・バセラル
ブラジル音楽の巨星ジョアン・ドナートに捧げる
アルバムをリリース

ドナートが亡くなる前に遺した未発表曲も収録

9月27日配信スタート

歌手のレイラ・ピニエイロ(Leila Pinheiro)とマルチプレイヤーのヒカルド・バセラル(Ricardo Bacelar)がタッグを組んで制作したアルバム「ドナート」(Donato)の配信が今月27日(金曜日)にスタートする。同アルバムには、ブラジルの作曲家・ミュージシャン・アレンジャーで、生きていれば今年の8月17日で90歳の誕生日を迎えるはずだったジョアン・ドナートの楽曲が新たな解釈で収録されている。

ブラジルのミュージシャン、ヒカルド・バセラルとレイラ・ピニエイロによるアルバム「ドナート」(Donato)のネット配信が開始しました。

https://ffm.to/jasmin_donato

▼プロモーション動画 (YouTube) はこちらからご覧下さい。

https://youtu.be/3aN3Y0Vf_A?si=cDR_VYYdA--V71wo

ドナートの楽曲に没頭する作業にレイラを誘ったのはヒカルド・バセラルの方だった。アルバム全編でピアノの音響を担当したバセラルは、「ドナートの作品に新たな視点をもたらすようなアルバムを作りたいかった。レイラはジャスミン・スタジオのあるフォルタレーザまで来てくれ、レコーディング初日に早速二人で「ルガール・コムン(Lugar Comum)」 「ア・ハン(A Rã)」の2曲を吹き込んだ。ミュージ

シャンでもある彼女と一緒にハーモニーを紡ぎながら、演奏・録音していく作業は全てが自然な流れで進行した。レイラは歌手としてもピアニストとしても、正確かつ要求の厳しいアーティストであり、我々二人のコミュニケーションは円滑だった」と話す。

「ヒカルドのスタジオはこれまで私がレコーディングに使ったことのあるスタジオの中でも屈指の素晴らしい施設で、ジャスミン・レコードというレーベルの存在も知っていたが、随分変わったオファーだなというのが正直な印象だった。ドナート作品はそれまでに何曲もレコーディングしており、ステージでの共演も多く、ドナートは1983年リリースの私のファーストアルバムに参加、私も彼のDVD「ドナトゥラル(Donatural)」に参加するなど、私にとって偉大な存在であるドナートに捧げるアルバムをこの時期に作ろうという選択肢は自分にはなかった」とレイラは話す。「ヒカルドからオファーを受けた時には、ドナートの生誕90年に合わせた発表のタイミングが絶妙に思え、また自分にとっては大きな挑戦になると感じた。」これまでに素晴らしいレコーディングやアレンジがされている曲に新たなアプローチを探することは、ある意味では曲家のオリジナルのコンセプトを解体するような作業で、「ヒカルドのことを、そして彼が提案するものや、我々二人の出会いから生まれてくるものを全面的に信頼して、体当たりで取り組むことにした」という。

ピアノとヴォーカルによるアルバムのレコーディングに、ジャキス・モレレンバウムが加わって新たな輪郭が生まれた。モレレンバウムについてヒカルドは、「彼とは以前アルバム『アンダー・コン・ジル(Andar com Gil)』のレコーディングで共演したこともあって参加を依頼した。今回のアルバムへのジャキスの貢献は大きく、曲のアレンジは我々三人が協力して作り上げたと言っても過言ではない」という。レイラも「我々はトリオとして一緒にジョアン・ドナートと共作者たちの作品を深く読み込んだ」と語っている。

アルバムに収録されたドナートの作品12曲は、カエターノ・ヴェローゾ、ジルベルト・ジル、ホナウド・バストス、アベル・シルヴァ、シコ・ブアルケ、マルロン・セッチ、シルヴィオ・フラータ、リジマス・エニオとの共作。この中で唯一の未発表曲である「コンタス・ジ・ヴィードロ(Contas de Vidro)」は、作曲者ドナートの生前にイヴォーネ・ベレンを通じてレイラ・ピニエイロの手に渡った。「この曲はドナートとジョアン・ジルベルト、リジマス・エニオとの共作

で、これまでインストゥルメンタルバージョンしか録音されていなかった。ドナートがイヴォーとの電話中に『これを送ったら、レイラは大喜びするな』と言っている声が聞こえたが、まさにその通りになった。この曲と『ヴェルボス・ド・アモール(Verbos do Amor)』では私がピアノを演奏した」とレイラは話す。ヒカルド・バセラルは、この曲と名曲「ナトゥラルメンチ (Naturalmente)」でレイラとヴォーカルを共にしている。

予定されていたドナートの特別参加も実現しなかった。「リオに行って一曲ドナートにも参加してもらおう計画だったが、残念なことにレコーディングの前に亡くなってしまった」という。

ジャキス・モレレンバウムは、「ア・ハン(A Rã)」、「アサフラオン(Açafrão)」、「ナケラ・エスタサオン(Naquela Estação)」、「ナトゥラルメンチ (Naturalmente)」、「コンタス・ジ・ヴィードロ (Contas de Vidro)」、「ジャ・キ・ヴォセ・デウ・モチーヴォ(Já Que Você Deu Motivo)」、「ヌア・イデア(Nua Ideia)」、「フローラ・ジ・マラクジャー(Flor de Maracujá)」、「ブリーザ・ド・マール〜スルプレーザのメドレー(Brisa do Mar"/"Surpresa)」の9曲でチェロを披露している。

今回のアルバムの前にも、レイラとバセラルはジャスミン・ミュージックからリリースされた2作品で共演している。2023年には、レイラはボサノヴァ界の重鎮ロベルト・メネスカルの誘いを受け、メネスカル本人とヒカルド・バセラル、チオゴ・モンゾの合作アルバム「ノス・イ・オ・マール (Nós e o Mar)」に収録された「バイ・バイ・ブラジル (Bye Bye Brasil)」(作詞・作曲ロベルトメネスカル、シコ・ブアルケ) のレコーディングに参加した。さらに同年の年末には、二人で「セメンチ・ジ・マレ (Semente da Maré)」(作詞作曲ギリエールメ・アランチス) をシングルとしてリリースしている。

アルバム「ドナート」のサウンドは、レイラ・ピニエイロとヒカルド・バセラルが入念にこの作品を作り上げたことを反映している。「ドナート作品の扱われ方については、最新の注意を払った。彼の楽曲のような偉大な作品に新たな解釈を加えようとする場合、大きな敬意や厳密さが求められる」。レイラの考えでは、このアルバムには若い世代のピアニストや歌手、アレンジャーにドナート作品を紹介するという役割もある。「聴いた人が驚くような独自の視点を与えることができ

るのはとても興味深い経験だった。このアルバムは言うなれば誰も見たことのないジョアン・ドナートの肖像写真だと言える」。

プロフィール

ジョアン・ドナート (ジョアン・ドナート・ジ・オリヴェイラ・ネット) はアクレ州生まれの作曲家、ミュージシャン、ピアニスト、アコーディオン奏者、歌手で、2023年7月17日に他界。ボサノヴァ・ムーブメントに参加し、米国ではラテンジャズを広めた。2023年にはアルバム「セロトニーナ(Serotonina)」でラテングラミー賞を受賞するなど、世界に向けたブラジル音楽の発信に多大な貢献をした。

ヒカルド・バセラルはピアニスト、作曲家、音楽プロデューサーで、自身のレーベルであるジャスミンミュージックを立ち上げ、現在ブラジル国内で最も重要なレコーディングスタジオのオーナーでもある。リオデジャネイロの人気グループ、ハノイ・ハノイのメンバーとして長年活躍。ソロアーティストとしては、ベルキオール、イヴァン・リンズ、ジルベルト・ジル、ファグネル、ロベルト・メネスカル、フラヴィオ・ヴェントウリーニ、エチナルド、アメリーニャといった大物ミュージシャンたちとレコーディングしている。また米国のジャズ専門ラジオ局で最も頻繁にオンエアされたアーティストの一人に入ったことが2度ある。ヨーロッパや日本でもツアーを行っており、2024年には東京ブルーノート・プレイス公演を含む8公演の日本ツアーを開催した。

MPBやサンバ、ボサノヴァの歌手であり、ピアニスト、作曲家としても活躍するレイラ・ピニエイロは、44年のキャリアを持つ。ロベルト・メネスカルがプロデュースしたアルバム「Bênção Bossa Nova (ベンサン・ボサ・ノヴァ)」の記録的ヒットでボサノヴァアーティストとしての名声を確立。これまでに多くの賞を獲得しており、来日公演も行っている。アントニオ・カルロス・ジョビン(Tom Jobim)、ジョアン・ドナート、イヴァン・リンズ(Ivan Lins)らブラジル音楽を代表するアーティストとも共演。代表曲はジョビン作曲の「Espelho das Águas (エスペリョ・ダス・アグアス)」、フラヴィオ・ヴェントウリーニ(Flávio Venturini)とムリロ・アントゥニス(Murilo Antunes)作曲の「Besame (ベサメ)」など。ピアノは10歳から演奏している。

ドナート - レイラ・ ピニエイロ&ヒカルド・ バセラル
feat. ジャキス・ モレレンバウム

収録曲

1. **A Rã** (ジョアン・ ドナート/カエターノ・ ヴェロージ)

レイラ・ ピニエイロ - ヴォーカル

ヒカルド・ バセラル - ピアノ

ジャキス・ モレレンバウム - チェロ

2. **Lugar Comum** (ジョアン・ ドナート/ジルベルト・ ジル)

レイラ・ ピニエイロ - ヴォーカル

ヒカルド・ バセラル - ピアノ

3. **Açafrão** (ジョアン・ ドナート/マルロン・ セッチ/シルヴィオ・ フ
ラーガ)

レイラ・ ピニエイロ - ヴォーカル

ヒカルド・ バセラル - ピアノ

ジャキス・ モレレンバウム - チェロ

4. **Naquela Estação** (ジョアン・ ドナート/カエターノ・ ヴェロージ/
ホナウド・ バストス)

レイラ・ ピニエイロ - ヴォーカル

ヒカルド・ バセラル - ピアノ

ジャキス・ モレレンバウム - チェロ

5. **Brisa do Mar - Surpresa** (ジョアン・ ドナート/アベル・ シル
ヴァ, ジョアン・ ドナート/カエターノ・ ヴェロージ)

レイラ・ ピニエイロ - ヴォーカル

ヒカルド・ バセラル - ピアノ

ジャキス・ モレレンバウム - チェロ

6. **Verbos do Amor** (ジョアン・ドナート/アベル・シルヴァ)

レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル、ピアノ

ヒカルド・バセラル - ピアノ

7. **Naturalmente** (ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェロージ)

レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラル - ピアノ、ヴォーカル

ジャキス・モレレンバウム - チェロ

8. **Cadê Você** (ジョアン・ドナート/シコ・ブアルケ)

レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラル - ピアノ

9. **Contas de Vidro** (ジョアン・ドナート/ジョアン・ジルベルト/リ

ジラス・エニオ)

レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル、ピアノ

ヒカルド・バセラル - ヴォーカル

ジャキス・モレレンバウム - チェロ

10. **Já Que Você Deu Motivo** (ジョアン・ドナート/ホナウド・バストス)

レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラル - ピアノ

ジャキス・モレレンバウム - チェロ

11. **Nua Ideia** (ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェロージ)

レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラル - ピアノ

ジャキス・モレレンバウム - チェロ

12. **Flor de Maracujá** (ジョアン・ドナート/リジラス・エニオ)

レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラル - ピアノ

ジャキス・モレレンバウム - チェロ

カバー : MZK

ジャスミン・スタジオにて録音

レコーディング : メウク

ミキシング：ベト・ネーヴェス(マンドゥーリ・スタジオ)
マスタリング：カルロス・フレイタス
プロデュース：ドナート・レイラ・ピニエイロ&ヒカルド・バセラル

<このプレスリリースに関する問い合わせ先>

担当：羽山 ネイデ

電話：080-6580-6299

メール：neidehayama@me.com